

○事業所名	テラコヤキッズ ゆめ気球教室			
○保護者評価実施期間	令和8年2月1日		～	令和8年3月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	36名	(回答者数)	14名
○従業者評価実施期間	令和7年2月1日		～	令和7年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月15日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	アンケート結果より抜粋してください。特になければ 職業体験の機会提供や、ソーシャルスキルトレーニングなど学校卒業後の自立を見据えた療育環境が整っている	お子様一人一人の成長ベースにあった、療育を提供している。	企業、実習、体験先を増やしていければ良いと考えている
2	支援目標の5領域を意識した計画を作り、それに即したプログラムを指導員間で話し合い、企画・実施を行っている。	プログラムの立案は常勤の指導員で話し合い、次月の活動を決めている。	
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	。活動スペースに限りがある事が課題と考える	お子様の成長に伴い、活動内容を見直し、スペースの活用を行っている	お子様の年齢に応じて、活動内容に工夫を行い室内だけでなく、事業所外での活動を多く取り入れる事で活動に影響がない療育を目指している
2	保護者同士の交流の場について	営業時間、保護者様の就労やご家庭の状況などを含め幅広い視点で選択肢を模索している	座談会や、保護者交流会などの開催について検討を重ねている
3	災害への備え	防災グッズや備品など教室内で準備はされているが、何がどこにあるかなどの認識やいざという時に持ち出す準備がまだ不十分である。	災害時にすぐに持ち出すためのバッグ等を準備し、いざという時に備える。